

東京都 標準化 活用スクール

東京都
生産性革新スクール
補完スクール

第2期
受講生
募集案内



～コロナ禍だからこそ生産性革新を～

今年はWebも活用します！

※事例学習は集合形式での講義を予定※

募集期間 令和2年8月17日(月)～9月17日(木)



公益財団
法人 東京都中小企業振興公社

『東京都標準化活用スクール』

1. 「技術・技能の標準化」を行う必要性

わが国では、少子高齢化の進展とともに、就業構造が大きく変化しております。このような状況下において、製造現場の生産性を向上させるためには、生産管理技術と設備管理技術の両輪を力強く廻す必要があります。

現在、東京都生産性革新スクールにおいて、生産の流れ改善については、企業様での現場実習を含めたカリキュラムを展開して高い評価をいただいています。しかしながら、さらなる生産性向上を目指すためには、生産設備面での生産効率向上が求められます。そのためには、

- ◆ 熟練技術・技能者が保有している知見やノウハウを次世代へ円滑に引き継ぎを図ること。
- ◆ 現在保有している機械設備の有効活用を図るため、自主保全体制を構築すること。

この2点に注力することが重要と考えます。

この2点を達成し、生産設備面での生産効率向上を目的として、東京都標準化活用スクールを開講します。

2. 標準化とは

標準化とは、ルールなどの取り決めである標準を意図的に作って利用する活動です。また、誰がやっても同じようにできるようにするための取組として、作業工程ごとに一定のルールを定め、そのルールに沿って各従業員が作業を進めることを技能・技術の標準化といいます。

3. 標準化のメリット

◆ 技術・技能の蓄積と伝承

個人が保有する技術・技能を、企業の技術・技能として蓄積、伝承できる。

◆ 品質の安定・向上

安定した生産で、技術・技能のバランスが抑えられ、品質が安定・向上する。

◆ 技術・技能の向上

蓄積した技術・技能をベースとして、さらなるレベルアップが可能となる。

◆ 業務効率の向上

作業工程間で理解が深まり、業務が円滑に流れ、生産の効率化が図れる。

受講生の募集について

募集期間 令和2年8月17日(月)～9月17日(木)

実施場所

- ・ Zoomを用いたWeb形式
- ・ 秋葉原近隣会議室【AP秋葉原】にて集合形式で開催。

募集定員 10名(先着順)

受講対象

- ・ 都内中小製造事業者の現場責任者、または幹部候補の方で生産技術や設備管理に関する知識を有する方。
- ・ すべてのカリキュラムを受講可能な方。

受講料 3万円(振込みによる事前払い)

講義時間 10:00～16:00(講義時間のうち、1時間の昼食休憩あり)



カリキュラム(予定)

日数	実施月日	内 容	実施場所
1	10月 7日(水)	・ 講 義 :なぜ、標準化、技能伝承が必要なのか、その重要性を理解する(ゲーム等を通じて、体験的に理解する) :なぜ、設備保全が必要なのか、その重要性を理解する	(Webにて実施)
2	10月14日(水)	・ 事例学習 :伝動装置の効率的な管理について具体例を通じて学ぶ :軸受・回転設備の管理について具体例を通じて学ぶ	(秋葉原近隣会議室)
3	10月21日(水)	・ 講 義 :ものづくりにおける安全とは(実習を含む) :KYTの基本手法 :設備管理(TPMマネジメントの基本)等	(Webにて実施)
4	10月28日(水)	・ 講 義 :生産効率・設備効率を向上させる標準化マニュアル ・ 事例紹介 :具体的な取組み事例を企業担当から学ぶ	(Webにて実施)
5	11月 4日(水)	・ 事例学習 :空圧・油圧設備の効率的な管理と標準化の方法 :電動機・設備稼働の効率的な管理と標準化の方法	(秋葉原近隣会議室)

(注) 本カリキュラムは暫定的なものです。予告なく内容を変更する場合があります。

(注) 新型コロナウイルスの流行状況等鑑み、日程および実習場所が変更となる可能性があります。

Webにて 実施

- ・ 「Zoom」を利用したオンライン授業にて実施します。
- ・ 端末(PC推奨)とインターネット環境、メールアドレスが必要です。

秋葉原 近隣 会議室

- ・ 受講生同士、講師が十分な距離を保つことのできる広さの会場で実施します。
- ・ 消毒や換気等、感染症対策を行います。

講師紹介

竹野 俊夫

高度ポリテクセンター能力開発教授。陸上自衛隊予備自衛官（技能・整備）

2等陸曹。ウガンダ島で自動車整備を指導。また企業の現場で設備の保守メンテナンスや保全方法を幅広く支援。

【著書】

「目で見てわかる稼げる機械保全」、「目で見てわかる稼げる電気保全」、「目で見て分かる稼げる設備保全」、「作業手順書の作り方・使い方」(日刊工業新聞社)など

濱松 史郎

トヨタ自動車(株)にて、トヨタ生産方式教育トレーナー及び保全教育トレーナーとして活躍。ものづくりインストラクターシニア塾1期生。現在は、カイゼンコンサルタントとして企業の生産性革新活動を広く支援している。

竹中 秀夫

グンゼ(株)出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育・人事と広範囲な業務に従事。東京都生産性革新スクール校長。

申し込み・受講の流れ

1. 申込方法

受講申込書をWebサイト (<https://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/2008/0007.html>)からダウンロードし、記入のうえ、下記まで郵送ください。

〒101-0024
東京都千代田区神田和泉町1-13
住友商事神田和泉町ビル9階
公益財団法人 東京都中小企業振興公社
経営戦略課 生産性向上担当 宛て

【WebサイトのQRコード】



2. 受講料振込

初回実施日までに、当会社が指定する口座へ受講料をお振込みください。

3. 受講について

受講期間は、10月7日から11月4日までの全5日。

4. 修了要件

全体の出席率が8割以上の場合に修了証を発行します。

お問合せ

公益財団法人 東京都中小企業振興公社
事業戦略部 経営戦略課

〒101-0024

東京都千代田区神田和泉町1-13 住友商事神田和泉町ビル9階

TEL 03-5822-7250

FAX 03-5822-7235

E-mail seisansei@tokyo-kosha.or.jp

ホームページ <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

アクセス ■JR線・つくばエクスプレス「秋葉原駅」徒歩10分

■東京メトロ・日比谷線「秋葉原駅」徒歩10分

